

ご存じですか！文化財

51

「医王寺 薬師如来坐像」

市指定有形文化財
昭和55年9月30日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 芋茎350

芋茎の医王寺(曹洞宗)境内の一角に、本堂と見紛うほどの大きなお堂があります。お堂は薬師堂で、安永4(1775)年に建立されました。堂のいたる所に掲げられた、拝み絵馬は「目が良くなるように」と奉納されたものです。

薬師如来は病気や災いを除いてくれる仏で、特に眼病治癒には霊験あらたかといわれます。医王寺の薬師様は檜の寄木造りで、日光・月光菩薩を伴い、慈愛

に満ちた表情で迎えてくれます。平安時代の作とみられ、胎内には弘治2(1556)年に像の修復や彩色を施した旨が記されています。ご開帳は、1月8日、12年毎の寅年4月8日には、大開帳が行われています。なお薬師堂には、江戸時代の朝鮮通信使の行列を描いた絵馬(享保4(1719)年奉納)があります。また、算額(和算と呼ばれる日本独自の数学。その問題が解けた記念に、解き方を板に記した)も奉納されていて、ともに市指定有形民俗文化財に指定されています。



紹介者 来須芳秋さん(芋茎)